

地域活性化の実現に向けて

変革と成長への挑戦

令和6年4月からの3年間を見据えた「3ヵ年中期経営計画」を策定し、「変革と成長への挑戦」をビジョンに掲げています。

私たちは、「ほくとしんきん」の一員として誇りを持ち、環境の急激な変化に対応するため、強い意志と熱意で変革に取り組める集団となり、地域・お客さま・職員の成長としあわせを実現してまいります。

ほくとしんきん ミッション・ビジョン

Mission

職員のしあわせづくり

●心理的安全性と健康経営をベースに、コミュニケーション豊かなチームのもと、職員のキャリア形成を応援し、働きやすく働きがいのある職場をつくり、職員・家族のしあわせを実現する。

Mission

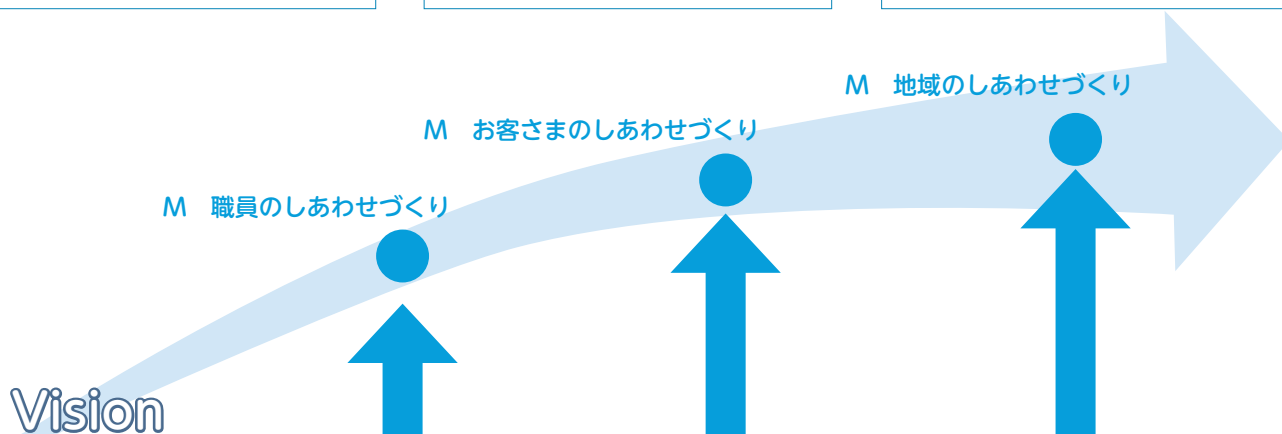
お客さまのしあわせづくり

●お客さまのことを知り尽くし、事業の成長に向けたイノベーションの創出やライフプランをお手伝いすることで、お客さまの夢や思い描かれる将来像と一緒に実現する。

Mission

地域のしあわせづくり

●地域のコーディネーターとして、地域とつながり、コミュニティを形成していくことで、地域未来を創造し、地域経済成長を実現する。



変革と成長に向け挑戦する集団

令和8年度基本計画(基本戦略と取組施策)

変革に挑戦		成長に挑戦	
人的基盤の確立	職員のキャリア・成長の支援に向けた取組み	事業所向けの取組み	訪問活動の徹底による事業者支援の実施
	変革と成長へ挑戦する組織風土の醸成		本業支援活動の収益化
	健康経営優良法人認定制度を活かした健康経営の実践	個人向けの取組み	ライフプランに応じた商品・サービスの提供
経営管理の浸透	本部・営業店間のコミュニケーションの強化		非対面チャネルの活用による顧客利便性向上
	効果的かつ効率的な営業態勢の検討	持続可能な地域未来	地域企業の共創による価値創造
リスク管理態勢の強化	金利上昇局面における適正なリスクコントロールの実施		オープンファクトリーを通じたイノベーション創出
	顧客保護管理態勢の強化	自己資本の充実	市場運用力の強化
	マネロン・サイバーセキュリティ対策の強化		金利上昇局面における適正な貸出金プライシング
業務改革への挑戦	DX推進による業務改革		収益管理の強化
	しんきんDBの活用		
店舗戦略の進化	顧客ニーズに合わせた店舗運営		
	計画的な店舗の見直し		



ほくとしんきんSDGs宣言 ~未来のために、今できること~

当金庫は令和3年12月20日にSDGs宣言を行いました。

経営理念に掲げる「地域社会の発展に貢献する」「誠実と親切を旨として会員顧客の繁栄に寄与する」「相互信頼のもとに職員家族の福祉増進に努める」のもと、当金庫の事業活動を通じて持続可能な地域社会の実現に貢献することで、国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に努めてまいります。

ほくとしんきんのSDGs取組方針

- ①地域産業の振興、地域経済の持続的な繁栄に向けた取組み
ほくとしんきんは、地域事業者への金融仲介機能を発揮し、お客さまの課題解決を支援することで地域経済の持続的な繁栄に貢献します。
- ②暮らしやすい街づくり、魅力ある地域社会づくりに向けた取組み
ほくとしんきんは、地域住民の皆さまへの金融サービスの提供と、法令順守・金融犯罪防止等に努めることで、暮らしやすい地域社会づくりに貢献します。
- ③地球環境保全に向けた取組み
ほくとしんきんは、地域環境の保全活動に加え、省エネ、省資源に努めることで、将来にわたる地球環境保全に貢献します。
- ④人財育成と働きがいのある職場づくりに向けた取組み
ほくとしんきんは、お客さまの様々なニーズにお応えできる職員を育てるとともに、多様な職員が活躍できる、働きがいのある職場づくりに努めます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



地域産業の振興、地域経済の持続的な繁栄に向けた取組み

- 事業性融資商品による中小企業への円滑な資金供給
 - ・食に関する地域資源の有効活用「ほくと「食」の応援団」
 - ・認定農業者向けのほくと農業おうえんローン「豊作の願い」
 - ・NPO法人向け「ほくとNPO事業支援ローン」
 - ・ほくと創業支援ローン「ドリーム」
 - ・ソーシャル企業向け「ほくとしんきんソーシャル・グッド融資」
 - ・日本政策金融公庫と連携したCLO融資「ほくとしんきん地域元気ローン」
 - ・京都府との連携による脱炭素化を促進するための「サステナビリティ・リンク・ローン」
- 事業者のライフステージに応じた課題解決支援
 - ・補助金申請支援
 - ・ビジネスマッチング支援
 - ・海外ビジネス展開支援
 - ・副業・兼業人材マッチング支援
 - ・BCP計画策定支援
 - ・クラウドファンディングの活用支援
 - ・創業・新規事業支援、経営改善支援、事業継承支援、M & A支援
- ネットワークを活用した産業振興支援
 - ・自治体や商工団体との連携による地方創生支援
 - ・京都工芸繊維大学、舞鶴工業高等専門学校、福知山公立大学との産学連携
 - ・若手経営者の会への積極関与による事業者育成支援
 - ・他信用金庫が実施する年金旅行誘致
 - ・まちづくりファンドによる市街地活性化支援
 - ・休眠預金等を活用した京都府北部地域におけるコミュニティ支援事業（令和4年度）
- ソーシャル企業認証制度による企業価値の向上支援
- 職員の副業解禁による地域事業者への人材支援

地球環境保全に向けた取組み

- 省エネルギー、省資源、リサイクルの取組み
 - ・当金庫事務処理のペーパーレス推進
 - ・通帳レスアプリによる紙資源の使用量削減
 - ・現金封筒の設置見直しによる紙資源の使用量削減
 - ・照明のLED化等による使用電力量の削減
 - ・新築店舗への太陽光発電設備の設置
 - ・クールビズ・ウォームビズスタイルでの勤務
 - ・福知山市でのエネルギー地産地消の取組み
 - ・「地域脱炭素・京都コンソーシアム」参画による地域中小企業の脱炭素化促進
 - ・経済産業省「省エネ・パートナーシップ」参加による地域中小企業の省エネ促進
- 地域の清掃活動への積極的な参加

暮らしやすい街づくり、魅力ある地域社会づくりに向けた取組み

- 地域住民への金融サービスの提供
 - ・預金、為替等決済サービスの提供
 - ・ライフプランに応じた融資商品の取扱い
 - ・投資信託、保険商品等による老後資産形成の支援
 - ・医療・傷害保険等による備え充実の支援
 - ・インターネットを活用した金融サービスの利便性向上
 - ・お客さま本位の業務運営の徹底
- 犯罪防止に向けた取組み
 - ・マネロンおよびテロ資金供与防止対策への取組み
 - ・特殊詐欺防止に向けた取組み
- 人にやさしい店舗づくり
 - ・役職員の認知症サポーター養成講座の受講
 - ・電話リレーサービスの取扱い
 - ・A T MコーナーへのA E D設置
 - ・新築店舗への多目的トイレの設置
- 公益財団法人ほくと育英会による大学生向け奨学金の支給
- スポーツ大会の主催、協賛
- 地域行事への積極的な参加



人財育成と働きがいのある職場づくりに向けた取組み

- 職員の成長につながる体系的な研修制度
- 職員の能力を重視する職能資格制度をベースとした人事・給与体系
- 女性職員活躍の推進「えるぼし」認定取得
- 次世代育成支援対策推進法に基づく「くるみん」認定取得
- 「健康経営優良法人2026（大規模法人部門）」認定取得
- ワークライフバランス向上に向けた「イクボス」の推進
- 職員間コミュニケーションの活性化と健康増進を目的とした「サークル活動」の推奨と活動経費の助成



地域活性化の実現に向けて

地域活性化の実現に向けた取組みについて

当金庫では、各自治体が推し進める地方創生を後押しするとともに、お客さまの経営課題解決を積極的に支援しています。お客さまにとって一番身近な金融機関として良き相談相手となり、地域になくてはならない地元金融機関として「親しみがあり、何でも相談でき、安心できる」存在として、お客さまのニーズにあった最適なソリューションをご提供しています。

これからも、外部専門機関等とも連携し本部と営業店が一体となってお客さまを支援することで、地域のしごとを創出し、中小企業の売上を伸ばすことによる地域活性化の実現に向け取り組んでまいります。



ソリューションメニュー

創業・開業
①創業・新規事業支援
企業成長期
②クラウドファンディング活用支援
③販路拡大支援・ビジネスマッチング
④産学連携支援
⑤海外ビジネス展開支援
⑥補助金活用支援
⑦専門家派遣支援
⑧人材マッチング支援
転換期
⑨経営改善支援
事業承継期
⑩事業承継支援

地域密着型金融の取組状況 (令和7年4月から令和8年3月までの主な取組内容と実績)

当金庫では、地域社会の発展に貢献し、会員顧客の繁栄に寄与することを経営理念とし、中小企業の再生と地域経済の活性化を基本とした、持続的発展が可能な地域社会づくりに向けた取組みを推進しています。

● 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

地域の雇用を創出する創業・開業を支援!!

◎日本政策金融公庫と連携した開業段階での支援

日本政策金融公庫の協力のもと、創業予定先の事業計画策定支援に取り組み、創業支援融資「ドリーム」およびプロパー・保証協会対応による資金供給に努めました。

(令和7年度実績)

	取組件数	取組金額
創業支援融資「ドリーム」等の取組実績 (日本政策金融公庫との協調融資を含む)	22 件	123 百万円

【連携スキーム図】





お取引先の販路開拓や事業拡大を積極的に支援!!

◎ビジネスマッチングの取組み



◎営業エリア内マッチングの積極推進と全国の信用金庫取引先とのマッチング支援

多店舗展開のメリットを生かし、お客さまのマッチングニーズに関する情報を当金庫の全職員がリアルタイムに共有できる「ビジネスマッチング掲示板」を活用し、お取引先企業間のビジネスマッチングに取り組んでいます。

◎補助金・助成金の申請支援

「ものづくり補助金」や「事業再構築補助金」等の申請書作成にあたり、専門家派遣やブラッシュアップを実施し、お客さまと一体となった伴走支援に努めました。

(令和7年度実績)

名 称	申請支援件数	うち採択件数
ものづくり補助金	11 件	6 件
事業再構築補助金	6 件	2 件
中小企業新事業進出補助金	9 件	6 件
中小企業省力化投資補助金(一般型)	7 件	7 件

◎外部機関や外部専門家と連携した課題解決への支援

お客さまが抱える専門的な課題の解決を実践するために、京都府よろず支援拠点等の外部機関や外部専門家との連携による個別相談会やセミナー、専門家派遣等を実施しました。また、経営者の右腕となる人材の育成やコミュニティの形成を目的とした、「ほくとミギウデ塾」全6回を開講しました。

(令和7年度実績)

名 称	主催・協力	参加・支援先数
ほくとミギウデ塾(第1期)	当金庫	15先
各種個別相談会・専門家派遣	京都信用保証協会、京都府よろず支援拠点 等	204先



ほくとミギウデ塾

地域活性化の実現に向けて

◎ソーシャル企業認証制度を活用した企業価値の向上支援

当金庫、京都信用金庫、湖東信用金庫、但馬信用金庫、玉島信用金庫、枚方信用金庫および龍谷大学ユノスソーシャルビジネスリサーチセンターが参画するソーシャル企業認証制度は、社会課題に取り組む企業を認証することで、地域企業の価値向上およびビジネスの成長につなげるとともに、地域社会のソーシャルマインドの醸成および持続可能な社会を実現することを目指しています。

ソーシャル企業認証制度に加盟する6信用金庫が連携して開催する食の商談会「SOCIAL GOOD MEET UP」やものづくりをテーマにした「6信金ものづくりオンライン商談会」、地域連携の強化や今後の取組みへの一助となることを目的とした「ソーシャル企業認証交流会」を開催するなど、当制度の更なる価値向上や認証企業のPRに繋がる事業を実施しました。

また、令和7年10月には、様々な認証企業のコラボ商品が抽選で当たる「ほくとソーシャルスマイル定期預金」の発売を開始しました。同商品は、認証企業のPRだけではなく、認証企業と地域のお客さまとの繋がりを創出し、地域全体のソーシャルマインドの醸成を目的としています。

(令和8年3月末時点)

	企業数
ソーシャル企業認証制度認証企業	162先

(令和7年度実績)

	契約件数	契約金額
ほくとソーシャルスマイル定期預金	425件	999百万円

(令和7年度実績)

名 称	出展支援先数
SOCIAL GOOD MEET UP	7先
6信金ものづくりオンライン商談会	3先



SOCIAL GOOD MEET UP



ソーシャル企業認証交流会 in 亀岡



ほくとソーシャルスマイル定期預金

後継者問題を抱えるお客さまの円滑な事業承継を支援!!

◎事業承継や後継者問題を抱える企業への支援

お客さまが抱える様々な経営課題の相談窓口として、京都府事業承継・引継ぎ支援センター等との連携による事業承継個別相談会や専門家派遣を実施しました。京都府北部アトツギベンチャー道場では、全国で活躍する京都府北部地域のアトツギ経営者を講師にお迎えし、アトツギにとって必要な知識や経営ノウハウについて、実践を意識しながら学び合うプログラムを実施しました。

(令和7年度実績)

名 称	連 携 先	企業数 (件数)
事業承継・M&A成立	信金キャピタル(株)	12件
京都府北部アトツギベンチャー道場2025	京都信用保証協会	20先
その他の専門家派遣	信金キャピタル(株)	183件



京都府北部アトツギベンチャー道場2025



お客さまの経営改善に向けた課題解決をサポート!!

◎経営改善支援の取組み

当金庫では、業績や財務内容に課題を抱えているお客さまへの支援を目的に、経営改善計画の作成支援やアドバイスを実施しています。京都府中小企業活性化協議会や外部専門家等を積極的に活用するとともに、精度の高い財務・事業調査を実施し、事業実態を把握したうえで経営改善計画を策定することにより、効果的で実効性が伴う事業者支援に努めています。

また、外部環境の変化の影響を強く受けている融資先約 760 先に対し、毎月ヒアリングを行い、早期の段階で事業者の経営悪化の予兆把握に努めました。また、特に経営改善が必要な事業者 49 先については、集中的なモニタリングによる実態把握の実施、計画と実績に乖離が発生した先については、経営改善計画の再作成に向け、外部機関と連携した取組みを行うなど、伴走支援に努めました。

■経営改善支援・事業再生支援の取組実績 (令和7年度実績)

名 称	持込件数	完了件数*
京都府中小企業活性化協議会	6件	3件

※完了件数は前年度からの繰り越し分を含んでいます。

■経営支援・事業再生支援の取組み実績 (令和7年度実績)

	期初 債務者数	うち 経営改善支援 取組先数	αのうち期末に 債務者区分が ランクアップした 先数	αのうち期末に 債務者区分が 変化しなかった 先数	αのうち 再生計画を 策定している 全ての先数	経営改善 支援取組率	ランク アップ率	再生計画 策定率
	A	α	β	γ	δ	α/A	β/α	δ/α
合計	4,252先	49先	5先	39先	38先	1.15%	10.20%	77.55%

- (注) ・ 期初債務者数および債務者区分は令和7年4月当初時点で整理しております。
 ・ 債務者数、経営改善支援取組先は、取引先企業（個人事業主を含む。）であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含んでおりません。
 ・ βには、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載しております。
 なお、経営改善支援取組先で期中に完済した債務者はαに含めるもののβには含めておりません。
 ・ 期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合はβに含めております。
 ・ 期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組先」に選定した債務者については（仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても）期初の債務者区分に従って整理しております。
 ・ 期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めておりません。
 ・ γには、期中の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載しております。
 ・ 「αのうち再生計画を策定している全ての先数 δ」には、金融機関独自の再生計画策定先のほか、中小企業活性化協議会、RCC、地域経済活性化支援機構、産業復興機構、東日本大震災事業者再生支援機構などと連携した再生計画策定先を含んでおります。

● 地域の面的再生への積極的な参画

地方公共団体、海の京都DMO、商工会議所、商工会等と連携した地域活性化策の実施

◎「地域創生ワークショップ」の実施

次代を担う若手経営者の皆さまを対象に、地域課題に取り組んでいる先行事例を共有し、コミュニティを構築していく中で、地域課題をビジネスで解決するプレーヤーの醸成を図ることを目的とした「地域創生ワークショップ」を令和8年2月に開催しました。75名の方に参加いただき、「ローカルゼブラ」をテーマに、各所で活発な議論が行われました。



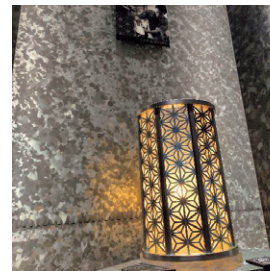
地域活性化の実現に向けて

◎「大阪・関西万博」への出展

当金庫は大阪・関西万博を契機とした地域・事業者の活性化を目的に、「大阪・関西万博きょうと推進委員会」より認証を受け、「関西パビリオン（京都ゾーン・多目的エリア）」への事業者の出展を支援しました。令和7年4月・7月・10月の3回で延べ21社に出展いただき、出展者同士の連携による新製品の共同開発・展示や、来場者へのPR、万博を契機とした北部地域への誘客など、多くのイノベーション創出につながりました。

（令和7年度実績）

出展日	テーマ	出展支援先数
4月29日～30日	MEET UP KYOTO きょうと大集合	16先
7月21日～27日	「産業」－融合と進化－	4先
10月3日～4日	KYOTO FOOD EXPO	1先



◎オープンファクトリー「NeoTAN」の開催

京丹後市・与謝野町と連携し、地域のものづくりや文化を体験できる地域一体型のオープンファクトリーイベント「NeoTAN」を開催しました。当地域内の事業者28社が出展され、令和7年10月3日から5日までの3日間で延べ約1,500人が来場されました。

また、令和7年7月・10月、令和8年3月には、日本政策投資銀行や近畿経済産業局、他地域の事業者、オープンファクトリーを支援する信用金庫等と連携し「関西オープンファクトリーフォーラム」を開催するなど、事業者同士のつながり、学び合いや事業成長につながる機会を創出しました。



NeoTAN

◎福知山市受託事業・フォーラム「官民共創による社会課題へのアプローチ」の開催

当金庫、福知山市、京都銀行が参画する公民連携促進会議は、福知山市の地域資源を有効活用することにより、地域の持続的な成長と活性化を図ることを目的として活動しています。

令和8年2月には、フォーラム「官民共創による社会課題へのアプローチ」を開催しました。47名の方に参加いただき、社会課題解決に向けた官民共創の在り方・実践について有識者、実務家、行政の視点から「本音」を語り合い、新たなつながり・学びの場を創出しました。



◎副業・兼業プロ人材活用事業

京都府北部5市2町において地域プラットフォーム「『海の京都』未来共創ネットワーク」を形成し、副業・兼業人材を活用することでお客さまが抱える「販路拡大・SNS活用・DX」等の経営課題解決や、地域の関係人口の創出を目指し活動しています。

令和7年度は、内閣府「先導的人材マッチング事業」の間接補助事業者として採択を受け、パーソルキャリア株式会社等の人材会社と連携した取組みにより、当金庫取引先20社において23名の副業・兼業人材が採用されました。

また、副業・兼業人材への理解を深め、各企業の経営課題を解決する副業人材を適切に採用へ結びつけるための個別相談会を開催しました。

（令和7年度実績）

名 称	主催	参加先数
副業人材活用個別相談会	当金庫	50先

地域資源を活かした農水産業の育成支援

◎FOOD COLLABO LABO 2025 IN KYOTOの開催

一次産品・一次加工品の生産者と京都市内の飲食店を中心としたバイヤーが一堂に会する場を提供し、地域経済を活性化させることを目的とした農商ビジネス商談会「FOOD COLLABO LABO 2025 IN KYOTO」を京都信用金庫との共催で、令和7年12月に京都市のQUESTIONにて開催しました。当金庫からは15社が参加し、京都市内を中心とした飲食業等の事業者とのフリー商談会や情報交換が活発に行われました。当金庫職員もスタッフとして運営に協力し、京都市内事業者との出会いの場を創出しました。



交流人口増加への取組み

◎団体旅行の誘致

他信用金庫にて実施される団体旅行を誘致するなど、しんきんネットワークを活用した当地域への集客促進に努めています。

(令和7年度実績)

	来訪金庫数	来訪者数
信用金庫業界のネットワークを活用した当地域への旅行誘致	8金庫	963名



「海の京都(kyoto by the sea)体験ファムツアー」の実施

他信用金庫の旅行企画担当者等を対象に、オープンファクトリーに取り組む事業者の視察訪問を旅程に入れた「海の京都(kyoto by the sea)体験ファムツアー～オープンファクトリー視察の旅～」を実施しました。

《ファムツアーの概要》

開催日	令和7年10月2日(木)・3日(金)	
旅程	1日目：福知山・宮津・伊根・京丹後	2日目：京丹後
参加	16金庫 合計16名	



◎観光口コミ情報の発信

当地域の交流人口増加を目指し、「観光口コミ情報」をホームページ、Instagramにて発信しています。

「観光口コミ情報」では、当金庫役職員が実際に足を運び集めた地元の魅力を「体験」「グルメ」「歴史文化」「景観」に分類し写真とともに掲載しております。



観光口コミ情報の
アクセス方法

Instagramはこちら



ホームページはこちら



地域活性化の実現に向けて

● 地域や利用者に対する積極的な関わり

お客さまへの積極的な情報発信

◎Facebookによる情報発信

当金庫の地域活性化に向けた活動をもっとお客さまに知っていただくため、Facebookによる情報発信を行っています。
皆さまからの「いいね!」をお待ちしています。



地域社会への貢献

◎金融犯罪防止に向けた取り組み

手口が多様化する特殊詐欺被害を未然に防止するため、所轄警察署と連携・協力し、ロビーでの啓発活動や多額の現金出金の際のアンケートを実施し、被害防止に努めています。令和7年度は、振込詐欺等特殊詐欺被害を未然に防止したとして、網野支店、福知山中央支店、大江町支店、中筋支店の職員が所轄警察署より感謝状をいただきました。

当金庫では、お客さまのご預金をお守りするために、今後も特殊詐欺被害未然防止に努めてまいります。



福知山中央支店



大江町支店



中筋支店

◎公益財団法人 ほくと育英会の運営

公益財団法人 ほくと育英会は昭和55年6月に設立し、経済的事情で修学困難な大学生に対する奨学金給与を目的として活動をしてきました。これまで巣立った卒業生は300人以上になり、さまざまな方面で活躍されています。

今後も、地域・地元の人材を育て、社会に貢献できる公益性の高い財団として運営してまいります。



◎スポーツ大会の主催・協賛

■第20回ほくとしんきん杯両丹軟式野球選手権大会(三世代野球大会) 令和7年10月

京都府北部地域の活性化と生涯スポーツとしての軟式野球の普及・発展を願い、学童・社会人・還暦の三世代にわたる野球仲間の交流を目的として京都軟式野球連盟が主催、当金庫が特別協賛しています。学童の部8チーム、社会人の部6チーム、還暦の部6チームの合計20チームにご参加いただきました。

部門	成績	チーム名	地区
学童の部	優勝	久美浜クラブ	丹後
	準優勝	成仁ジュニアーズ	福知山
学童の部(女子)	優勝	天橋ガールズ	宮津与謝
社会人の部	優勝	FORCES	亀岡
	準優勝	福知山選抜	福知山
還暦の部	優勝	舞鶴フェニックス	舞鶴
	準優勝	峰山シニアクラブ	丹後



■第24回ほくとしんきん杯京都府北部中学校野球大会 令和8年3月

スポーツを通じた青少年の健全な育成を目的として、当金庫営業地区内の中学校を対象に軟式野球大会を開催しています。福知山、綾部、舞鶴、宮津・与謝、京丹後の各地区から、昨年秋の新人戦で好成績を収めた12チームにご参加いただきました。

成績	チーム名
優勝	福知山市立南陵中学校
準優勝	舞鶴市立城北中学校
第三位	舞鶴市立青葉中学校・白糸中学校
第三位	福知山市立日新中学校



◎地域ボランティア活動への参加

各地域において、清掃活動ボランティアや地域行事・祭りへの参加など、積極的な地域貢献活動に取り組んでいます。



第50回クリーンはしだて1人1坪大作戦



京丹後市ビーチ斉クリーン作戦



福知山お城まつり



やくの高原まつり

◎「ゆかたを楽しむ月間」の取組み

地場産業である「丹後ちりめん」の振興を目的に、令和7年7月1日から8月29日までの期間、店舗において職員がゆかたや法被を着用してお客さまをお迎えしました。また、期間中にゆかたを着用して、盆踊りなどの地域イベントに参加しました。



岩滝中央支店



網野支店



福知山中央支店



舞鶴中央支店

ほくとしんきんトピックス

●健康経営優良法人2026（大規模法人部門）の認定を受けました

当金庫は、令和5年9月12日に「健康経営宣言」を策定し、組織として職員の健康づくりに積極的に取り組んでいます。

令和8年3月9日に、「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる」特に優良な健康経営を実践している企業として、経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人2026」の大規模法人部門において認定を受けました。

今後も、職員の健康管理を経営的視点から考え、“職員が明るく元気に働ける職場づくり”に向けて、「健康経営」の実践を進めてまいります。



●福知山市の環境省「脱炭素先行地域」選定に係る共同提案への参画について

当金庫は、福知山市が環境省「脱炭素先行地域」（第7回募集）に選定された取組みに、共同提案者として参画しており、このたび、福知山市を通じて選定証書を受領しました。

本取組みは、「脱炭素×子育て・スポーツのまちづくり～地域脱炭素事業を通じた子どもの体験格差の解消～」をテーマとし、未利用地・農地を活用した地域共生型の再生可能エネルギー導入、「地域課題解決型複業」による担い手確保、再エネ収益の地域還元等を通じて、脱炭素と地域課題解決の両立を目指すものです。

「脱炭素先行地域」は、2050年カーボンニュートラルに向けて、民生部門の電力消費に伴うCO2排出実質ゼロの実現などを地域特性に応じて進める、環境省選定のモデル地域です。

当金庫は、地域金融機関として、地域の持続可能な発展に資する取組みを重要な役割の一つと考えており、今後も福知山市および共同提案者の皆さまと連携しながら、地域の脱炭素化と地域活性化の両立に向けて取り組んでまいります。



●関西イノベーションイニシアティブ(KSII)に参画しました

政府がスタートアップ企業の育成・エコシステム構築に向けた支援を実施する中で、当金庫においても、スタートアップにかかわる周辺知識の習得や情報の取得・接点確保などを目的に、関西イノベーションイニシアティブ（KSII）の枠組みに参画しました。

関西イノベーションイニシアティブは、オール関西での大学発スタートアップ・エコシステムの形成とローカルゼブラの創出に向けて事業を推進する組織です。





「金融仲介機能のベンチマーク」の概要

平成28年9月に金融庁から公表された「金融仲介機能のベンチマーク」のうち、全ての金融機関が金融仲介機能の取組みの進捗状況や課題等を客観的に評価するために活用可能な指標である共通ベンチマークを開示いたします。

当金庫は、お客さまから「取引して良かった」と思われる親近感・信頼感のある地域金融機関を目指すために、引き続き地域活性化等に資する金融仲介機能の発揮や企業価値の向上に取り組んでまいります。

1.取引先企業の経営改善や成長力の強化

■メイン先のうち経営指標の改善等が見られた先数・融資額

	令和7年度		令和7年度	令和6年度	令和5年度
メイン先数	2,771社	経営指標等が改善した先に係る3年間の事業年度末の融資残高の推移	830億円	846億円	800億円
メイン先の融資残高	1,100億円				
経営指標が改善した先数	1,839社				

※ メイン先…法人は当金庫の融資残高が最も多い先（取引先グループベース）、個人事業主は全先をメイン先としています。

※ 経営指標等…①売上高、②営業利益（①②のいずれかが改善した先）

2.取引先企業の抜本的事業再生等による生産性の向上

■貸出条件変更先の経営改善計画の進捗状況

令和7年度					
条件変更総数	好調先	順調先	不調先		
			うち経営改善計画のある先	うち経営改善計画のない先	合 計
295社	2社	23社	34社	236社	270社

※ 条件変更先…不動産業の分譲地販売までの元金据置などを除く条件変更した先。中小企業再生支援融資、信用保証協会の経営サポート保証 15 年返済の融資を活用し、借入金を統合した先。ただし、債務者区分が実質破綻先、破綻先を除いています。

※ 経営指標等…①売上高かつ②簡易キャッシュフロー（営業利益＋減価償却費）を指標とし、好調、順調、不調を判定しています。

※ 好調：計画達成率 120% 超、順調：計画達成率 80% 以上 120% 以下、不調：計画達成率 80% 未満または計画未策定先

■当金庫が関与した創業・第二創業の件数

	令和7年度
創業件数	130件
第二創業件数	0件

※ 創業先…創業計画の策定支援や創業期の取引先への融資先等

※ 第二創業…既に事業を営んでいる企業の後継者が新規事業を開始した融資先等

※ 創業期（創業、第二創業から5年まで）の取引先への融資実行先としています。

■ライフステージ別の与信先数・融資額

	令和7年度					
	全与信先	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
与信先数	4,085社	304社	353社	2,883社	167社	378社
与信先に係る事業年度末の融資残高	1,657億円	80億円	184億円	1,022億円	44億円	325億円

※【創業期】（法人）法人設立から5年以下、かつ条件変更または延滞をしていない先

（個人事業主）「個人事業主創業期判定シート」により創業先と判定した先、かつ条件変更または延滞をしていない先

【成長期】売上高平均で直近2期が過去5期の120%超の先 【安定期】売上高平均で直近2期が過去5期の80%以上120%以下の先

【低迷期】売上高平均で直近2期が過去5期の80%未満の先 【再生期】条件変更先、延滞している先

3.担保・保証依存の融資姿勢からの転換

■事業性評価に基づく与信先数・融資額等

	令和7年度	
事業性評価に基づく融資を行っている与信先数及び融資残高	1,382社	669億円
上記計数の全与信先数及び当該与信先の融資残高に占める割合	33.8%	40.3%

※ 事業性評価シートを作成し、そのシートに基づき顧客と対話した与信先数及び当該与信先への事業年度末の融資残高。

「経営者保証に関するガイドライン」への取組み

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」及び「事業承継時に焦点を当てた『経営者保証に関するガイドライン』の特則」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客さまからお借入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するため、「経営者保証に関する取組方針」を策定しています。同取組方針に基づき、経営者保証の必要性については、お客さまとの丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等を把握し、同ガイドライン等の記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めています。

	令和7年度
新規に無保証で融資した件数	911件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	43.0%
保証契約を解除した件数	30件
経営者保証に関するガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数 (当金庫をメイン金融機関として実施したものに限る)	0件

金融ADR制度への対応

〔苦情処理措置〕

当金庫は、お客さまからの苦情のお申し出に公正かつ的確に対応するため業務運営体制・内部規則を整備し、その内容をホームページで公表しています。

苦情は、当金庫営業日(9時～17時)に営業店(電話番号は店舗一覧を参照)またはお客様サポートセンター(フリーダイヤル：0120-4910-86)にお申し出ください。

〔紛争解決措置〕

当金庫は、紛争解決のため、当金庫営業日に左記お客様サポートセンターまたは全国しんきん相談所(9時～17時、電話：03-3517-5825)にお申し出があれば、京都弁護士会(電話：075-231-2378)、東京弁護士会(電話：03-3581-0031)、第一東京弁護士会(電話：03-3595-8588)、第二東京弁護士会(電話：03-3581-2249)の仲裁センター等にお取次ぎいたします。また、お客さまから各弁護士会に直接お申し出いただくことも可能です。なお、東京、第一東京、第二東京弁護士会の仲裁センター等は、東京都以外の各地のお客さまにもご利用いただけます。

金庫の主要な事業の内容

1. 預金業務…当座預金、普通預金、貯蓄預金、通知預金、定期預金、定期積金、別段預金、納税準備預金、譲渡性預金等を取り扱っております。
2. 貸出業務 (1) 貸付…手形貸付、証書貸付および当座貸越を取り扱っております。
(2) 手形の割引…銀行引受手形、商業手形および荷付為替手形等の割引を取り扱っております。
3. 有価証券投資業務…預金の支払準備および資金運用のため、国債、地方債、社債、株式、その他の証券に投資しております。
4. 内国為替業務…送金為替、振込および代金取立等を取り扱っております。
5. 附帯業務 (1) 代理業務 ① 日本銀行歳入代理店
② 地方公共団体の公金取扱業務
③ 信金中央金庫の代理店業務
④ 株式会社日本政策金融公庫等の代理貸付業務
(2) 信託代理店業務
(3) 保護預りおよび貸金庫業務
(4) 有価証券の貸付
(5) 債務の保証
(6) 公共債の引受
(7) 国債等公共債および投資信託の窓口販売
(8) 保険商品の窓口販売(保険業法第275条第1項により行う保険募集)
(9) スポーツ振興くじの払戻業務
(10) 確定拠出年金法により行う業務
(11) 電子債権記録業に係る業務
(12) 地域活性化等業務

